

CEO Message 社長メッセージ

人と機械の最適環境の創造により、 新たな価値を提供し、 社会課題の解決に貢献します。

代表取締役会長兼社長 船木 俊之



『The IDEC Way』に込めた思い

1945年に創業したIDECは、2020年11月に75周年を迎えます。創業以来、制御技術、安全技術を核とするさまざまな製品やサービスを社会に提供してまいりましたが、2017年以降APEM社をはじめとする新たなグループ会社加わり、大きな変化の時を迎えています。このような中で、IDECグループが真のグローバル企業となり、100周年に向けて持続した成長を続けることができるよう、2019年に新たな理念として『The IDEC Way』を制定しました。『The IDEC Way』は、Vision、Mission、Core Valuesの3つの要素で構成しており、その最も重要な基盤として、創業の理念「人間性尊重経営」を位置づけ、継承しております。

Visionである「Pioneer the new norm for a safer and sustainable world. (いつも、ずっと、みんなに新しい安心を)」には、IDECグループがものづくりの未来と新たな可能性を創造し、明日の「当たり前」となる、新しいスタンダードの開拓者になるとともに、全ての人々に幸福と安心をもたらす、より安全で持続可能な社会の実現を目指す、という思いを込めています。

全世界のIDECグループ社員が「One IDEC」として同じ価値観を共有し、私たちの使命を達成していくために、一人ひとりが『The IDEC Way』を実践し、絶え間ない挑戦や変革を続けることで、真のグローバル企業として新たなステージへ飛躍してまいります。

見えない資産「ESG+Sa+Q」への取り組み

持続的な成長を実現する取り組みの一環として、事業活動を通じた社会課題の解決により、「持続可能な開発目標(SDGs)」を達成していくためのさまざまな取り組みを行っています。

2009年に国連グローバル・コンパクトに加盟し、10原則に基づいた活動を推進しており、2018年4月にはCSR委員会を立ち上げました。環境(E)、社会(S)、ガバナンス(G)、そしてIDECの強みである安全(Sa)と品質(Q)を重点分野と定め、継続的なCSR活動を推進しており、その中でも特に、創業当時より大切にしてきた安全のDNAを活かしたさまざまな活動を推進しております。

2018年1月には、国連の専門機関であるILO(国際労働機関)傘下のISSA(International Social Security Association)が推進する労働安全衛生のVision Zeroキャンペーンに賛同し、日本で初めて登録いたしました。

Vision Zeroキャンペーンはトップマネジメントが主導し、企業における「安全・健康・ウェルビーイング」を追求するアプローチです。その中では、人材への投資などについても述べられております。IDECは過去から、安全に関する知識と技能を持ったエンジニアやシステムインテグレータの技術担当者の人材育成に力を入れており、2020年4月時点のセーフティアセッサ、ロボット・セーフティアセッサなどの有資格者数は延べ約530名となっております。

またVision Zero推進活動の一環として、主力工場である滝野事業所(兵庫県)が、2019年3月に中央労働災害防止協会(中災防)から労働安全衛生マネジメントシステムISO 45001の認証を、中災防としては電機業界で初めて取得しました。2020年2月には福崎事業所と尼崎事業所(兵庫県)でも取得するなど、安全で働きやすい職場環境づくりを推進しております。

※ウェルビーイングとは、個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念。(出展:厚生労働省ホームページ)



A Company of

VISION ZERO
Safety. Health. Wellbeing.

2019年度の事業概要

米中貿易摩擦や、2020年1月以降に発生した新型コロナウイルスの世界的流行などの影響により、日本だけでなく中国や米州、欧州などにおいて厳しい市場環境となりました。

注力業界である工作機械や半導体、ロボット、自動車などにおいても、需要低迷や設備投資の先送りなどにより受注が減少いたしました。

グローバルな事業環境の悪化により、2019年度*の連結売上高は584億円(前年度比7.0%減)となりました。利益については、制御用操作スイッチをはじめとする主力製品群の売上が減少した影響から、営業利益は47億円(前年度比17.9%減)、営業利益率8.1%となりました。

一方厳しい事業環境の中でも、国内外の生産拠点の再編など、収益性向上を図るための施策を推進いたしました。

またAPEM社とのさらなるシナジー創出に向けた取り組みとして、中国や欧州においてIDECとAPEMの販売、マーケティング、物流拠点を統合し、売上拡大を推進しております。

製品においては、労働力不足の課題を抱えるものづくり現場において、配線作業やメンテナンス作業の大幅な省力化を実現する、Push-in接続方式を採用した製品群を2019年度から順次発売しております。制御用操作スイッチや制御用リレーをはじめ、各種製品のラインアップを拡充することで、安全性と信頼性を向上しつつ、省力化と効率化でものづくり現場の働き方改革を推進しております。

※2019年度は2019年4月から2020年3月までの期間です。

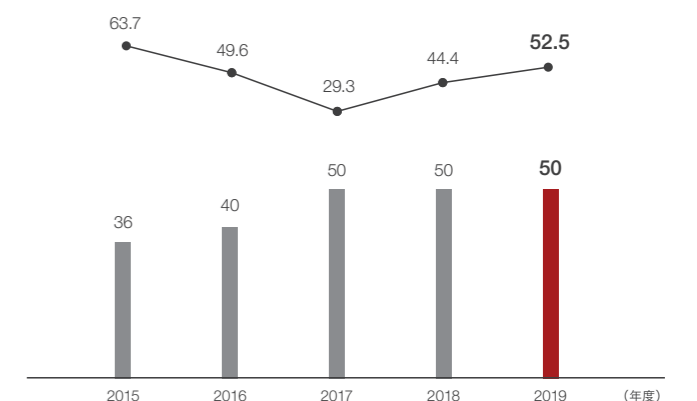
株主還元

IDECグループでは、財務体質と経営基盤の強化を図るとともに、株主さまに対する安定的な配当の維持と適正な利益の還元を実施することを経営の最重要施策の一つと認識しております。2019年度の1株当たりの年間配当金は50円となりました。

今後も株主の皆さまへの利益還元を重視したうえで、業績、外部環境などの変化に対応した機動的な配当政策を展開してまいります。

1株当たり配当金と配当性向の推移

■ 1株当たり配当金(円) → 配当性向(%)



長期目標

- HMI (Human-Machine Interface) のグローバルNo.1カンパニーへ。
- 世界一安全・安心を追究・実現する企業に。
- 社会課題に対応する新規事業の推進。

長期目標達成に向けた施策

IDECは長年、FA(ファクトリー・オートメーション)を中心としたものづくりの現場において使われる、多様なコンポーネンツを提供してきました。しかし長期目標を実現し、持続的な成長を図っていくためには、事業ドメインの拡大が必要不可欠となることから、M&Aや業務提携などを積極的に推進することで真のグローバル企業となるべく変革を図っております。

2017年にはフランスのAPEM社を買収し、欧州を中心としたグローバル販売網を獲得するとともに、車載や特殊車両(建設用車両、農業用車両など)といった、FA業界以外に事業ドメインを拡大することが可能となりました。APEM社とのシナジーをさらに拡大していくことで、人と機械の接点となるHMI分野において、グローバルNo.1となっていくための基盤づくりを進めております。

IDEC AUTO-ID SOLUTIONS株式会社と、2017年にグループ化した株式会社ウェルキャットは、2020年4月に統合し、物流やリテール分野なども含めた多様な業界向けに、自動認識機器事業の拡大を図っております。

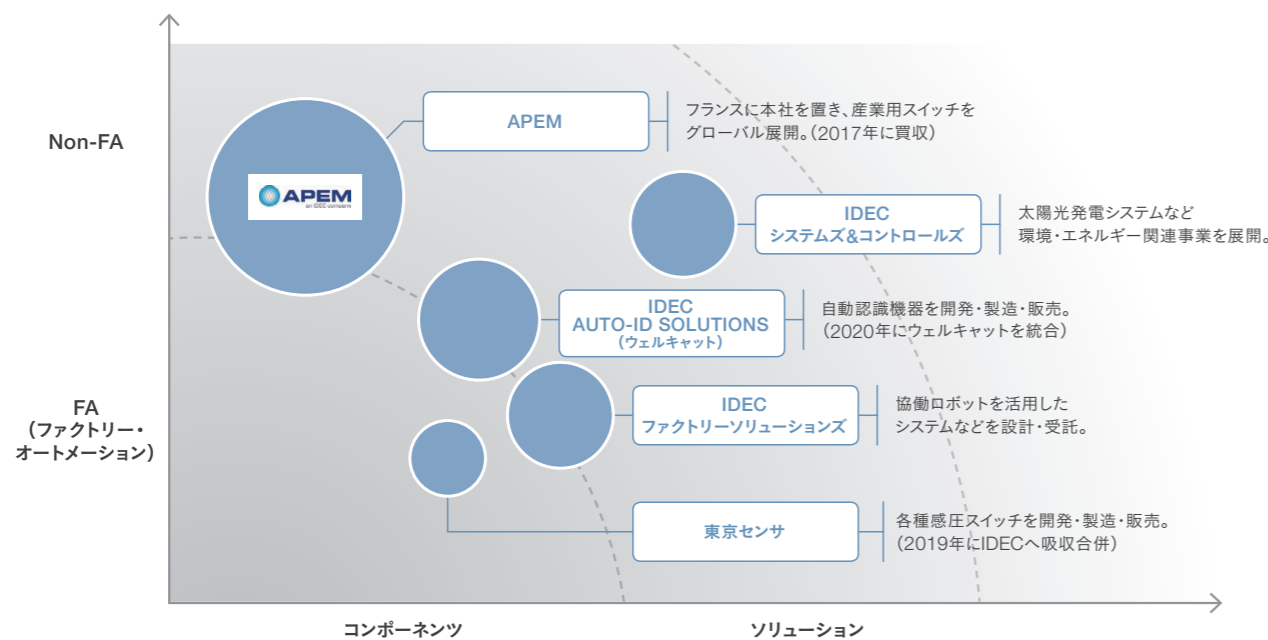
2018年に買収した、各種感圧スイッチに強みを持つ株式会社東京センサは、2019年にIDECへ吸収合併し、安全・安心を実現する製品ラインアップの拡充・強化と、新たな市場創出に向けた取り組みを推進しております。

IDECシステムズ&コントロールズ株式会社においては、太陽光発電システムや自家消費型ソーラー発電など、エネルギーマネジメントに関するワンストップソリューションを提供しております。

IDECファクトリーソリューションズ株式会社では、安全柵なしで人と同じ現場で働くことのできる協働ロボットと、多様なコンポーネンツを組み合わせることで、顧客ニーズにマッチした各種システムを提供しております。

既存事業の強化に加え、制御技術を活用した環境・エネルギー事業や協調安全ロボットシステム事業といった新規事業を拡大することで、多様な社会課題の解決に貢献し、持続可能な社会の実現を目指しております。

IDECグループの事業ドメインの拡大



2020年度の取り組み方針

- 事業活動を通じた社会課題の解決を通して、持続可能な成長を実現するとともに、高収益体質に変革することで企業価値の向上を図る。
- 企業文化の刷新に取り組み、グローバルベースで「One IDEC」を目指す。

2020年度の取り組み

IDECでは成長戦略の推進、収益性の向上、経営基盤の強化の3つを基本戦略として掲げ、具体的な取り組みを進めております。成長戦略の推進においては、社会課題に則した安全・安心ビジネスのさらなる拡大を目指しており、その取り組みとして、次世代の安全思想である「協調安全/Safety2.0」の考え方に立ち、多様な安全関連機器のアプリケーションをご提案しております。

2019年には日本の大手ゼネコンにおいて、IDECグループの安全のノウハウや技術、製品などを活用したシステムを採用いただきました。IDECグループが開発した、工事現場での生産性と安全性の両立を可能とするこのシステムは、一般社団法人セーフティグローバル推進機構が、労働災害をはじめ各種災害や事故防止の観点から推進し、社会に普及させることを目的に創設した「Safety2.0適合審査登録制度」を活用し、適合登録を受けております。

市場特性や顧客ニーズをきちんと把握したうえで最適なソリューションを提案することで、世界一安全・安心を追究・実現する企業を目指しております。

また、Push-in対応製品のラインアップ拡充や、IoTを実現するソリューションの拡販、協調安全ロボットシステムなど新規事業の拡大によるさらなる成長の実現に加え、生産・物流体制の見直しや納期の短縮、事業の選択と集中などにより、収益性の改善を図ってまいります。

経営基盤の強化に向けた取り組みとしては、働き方改革を積極的に推進しております。2020年度より、グローバルなIT基盤の導入を予定しており、全IDECグループが同じツールを使うことでコミュニケーションの活性化を図ります。その他にも、ロボットによる業務プロセスの自動化を行うRPA(Robotic Process Automation)の導入加速により、業務効率をさらに向上してまいります。

基本戦略への現在・未来のアプローチ

基本戦略	2019年度実績	2020年度の取り組み
「成長戦略」の推進 <ul style="list-style-type: none"> 成長に紐づく新製品の投入 新規事業の拡大 地域・業界軸での事業拡大 M&Aや提携を含めた戦略的パートナーシップの構築 	<ul style="list-style-type: none"> Push-in対応製品やセンサ、安全関連機器などの新発売 インド社設立 自律走行搬送ロボット(AMR)のリーディングカンパニーMIR社と日本の販売代理店契約を締結 	<ul style="list-style-type: none"> Push-in対応製品のラインアップ拡充 Safety2.0を実現する製品の発売による啓発、浸透 IoTソリューションの拡販 アジア・パシフィックでの事業拡大 協調安全ロボットシステムの導入加速
「収益性」の向上 <ul style="list-style-type: none"> 材料・製品の統合・品目削減 生産体制の見直し・納期短縮 コストダウンの推進 業務生産性の向上 事業の選択と集中 	<ul style="list-style-type: none"> 製品品目削減による生産性の向上 日本、中国における生産・販売拠点の統合 日本にアセンブルセンターを新設 	<ul style="list-style-type: none"> グローバル物流網の最適化 生産の自動化 業務プロセスの見直しと効率化 不採算事業の構造改革
「経営基盤」の強化 <ul style="list-style-type: none"> 目指す方向性の明確化 人材マネジメントシステムの強化 デジタル化による働き方改革の推進 コミュニケーションの活性化 	<ul style="list-style-type: none"> 「The IDEC Way」の制定 研修制度の再構築と拡充 従業員意識調査の実施と課題の把握 柔軟な勤務体系構築への着手 RPAの全社展開 	<ul style="list-style-type: none"> 「The IDEC Way」のさらなる浸透 事業戦略の見直し 従業員意識調査結果等を踏まえた人事制度改革の推進 経営環境に応じた人材確保と育成の強化 グローバルなIT基盤導入による効率化の推進